

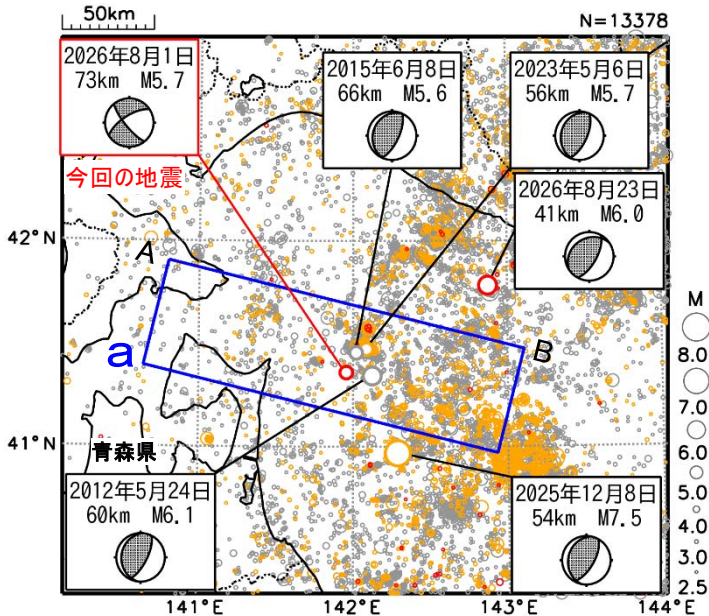
8月1日 青森県東方沖の地震

震央分布図

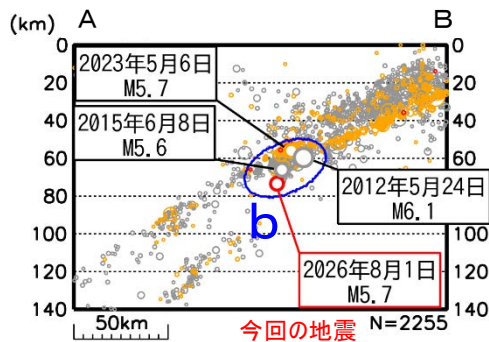
（1997年10月1日～2026年8月31日、深さ0～140km、 $M \geq 2.5$ ）

○1997年10月1日～2020年8月31日 ○2020年9月1日～2026年7月31日

●2026年8月1日以降 図中の発震機構はCMT解を示す



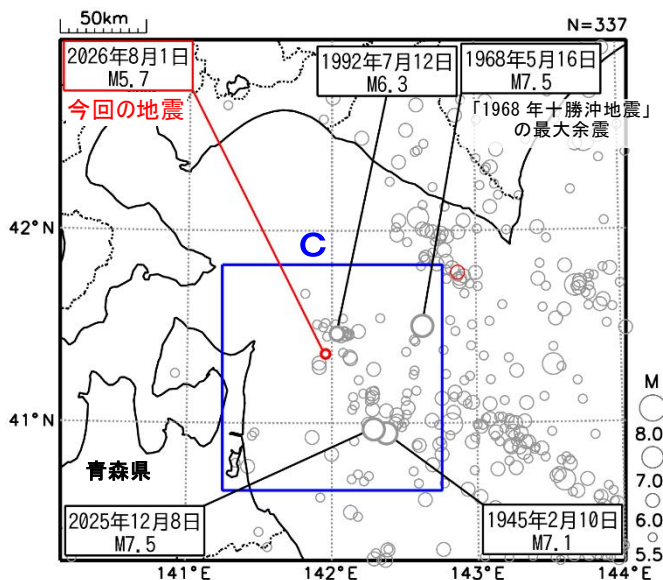
領域a内の断面図（A－B投影）



震央分布図

（1919年1月1日～2026年8月31日、深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ ）

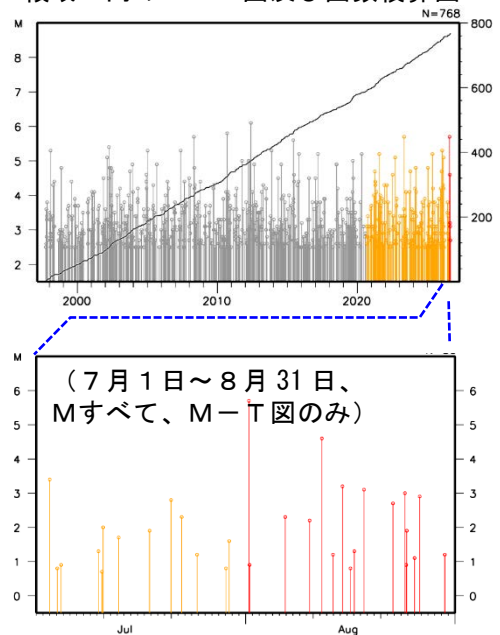
○1919年1月1日～2026年7月31日 ●2026年8月1日以降



2026年8月1日11時48分に青森県東方沖の深さ73kmでM5.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5を超える地震がしばしば発生している。2012年5月24日にはM6.1の地震（最大震度5強）が発生し、施設のガラス破損等の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

領域b内のM－T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では2025年12月8日にM7.5の地震が発生するなど、M7を超える地震が時々発生している。1945年2月10日にはM7.1の地震（最大震度5）で死者2人、家屋倒壊2棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM－T図

